

特定行為区分	心嚢ドレーン管理関連		時間	8
特定行為名	(A) 心嚢ドレーンの抜去			
学ぶべき事項	(共通) 心嚢ドレーン管理関連の基礎知識	1. 心嚢ドレナージに関する局所解剖 2. 心嚢ドレナージを要する主要疾患の病態生理 3. 心嚢ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント 4. 心嚢ドレナージの目的 5. 心嚢ドレナージの適応と禁忌 6. 心嚢ドレナージに伴うリスク（有害事象とその対策等）		
	(A) 心嚢ドレーンの抜去	1. 心嚢ドレーンの抜去の適応と禁忌 2. 心嚢ドレーンの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等） 3. 心嚢ドレーンの抜去の方法と手技		
研修概要	(共通) 心嚢ドレーン管理関連の基礎知識	心嚢ドレーンの必要性やその特徴を理解し、心嚢ドレーンの抜去を実践できる看護師を養成する。		
	(A) 心嚢ドレーンの抜去	医師の指示の下、手順書により、身体所見（排液の性状や量、挿入部の状態、心タンポナーデ症状の有無等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、手術後の出血等の確認や液体等の貯留を予防するために挿入されている状況又は患者の病態が長期にわたって管理され安定している状況において、心嚢のう部へ挿入・留置されているドレーンを抜去する。抜去部は、縫合、結紮閉鎖又は閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う。		
到達目標	1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、心嚢ドレーンの抜去ができるようになる。			
	2. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。			
	3. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。			
	4. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	試験：eラーニング上もしくは集合で実施			
研修内訳	講義（8時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	試験（任意）	試験は指定研修機関ごとに時間・設問数など設定してご利用ください		

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	通番
(共通) 心嚢ドレーン管理関連の基礎知識	心嚢ドレナージに関する局所解剖	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	1
	心嚢ドレナージを要する主要疾患の病態生理	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	2
	心嚢ドレナージを要する主要疾患のフィジカルアセスメント	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	3
	心嚢ドレナージの目的、適応と禁忌、伴うリスク（有害事象とその対策等）	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	4
(A) 心嚢ドレーンの抜去	心嚢ドレーンの抜去の適応と禁忌	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	5
	心嚢ドレーンの抜去に伴うリスク（有害事象とその対策等）	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	6
	心嚢ドレーンの抜去の方法と手技（1）	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	7
	心嚢ドレーンの抜去の方法と手技（2）	嶋田 晶江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 心臓血管外科	講義	8

心嚢ドレーン管理関連 科目修了試験	試験	-
-------------------	----	---